



代表の高橋氏

経営概要

株式会社レイトベースフクイ

◆代表者・所在地

高橋久明 坂井市三国町池上

◆設立

令和2年11月

◆経営規模

法人：水稻38ha、大豆7ha、ソバ13ha

酪農（個人）：乳牛28頭

◆従業員数

正社員3名・臨時雇用12名

◆事業内容

家業の酪農経営のほか、地域の集落組織からの経営移譲を受け、米・大豆などの生産販売を法人で取り組む。地域の農地を継承し、持続的経営を行うことで、地域への貢献を目指している。

1 現状と相談までの経緯

後継者のいない地元の集落組織から経営移譲の相談を受け、家業の水稻部門を拡大し、法人経営とすることを決意した。

これまで家業として酪農と水稻を経営してきたことから、酪農経営の経営方針を決めかねていたが、酪農経営の面白さも感じており、規模拡大について、以前に助言を受けた農業経営・就農支援センターに相談した。

2 相談内容

令和元年に水稻部門の法人化、集落組織からの経営移譲の方法、および酪農経営の拡大に向けて飼養規模、飼養方法、リスクの少ない設備投資への助言を受けたが、肥料高騰などの社会情勢を踏まえた稲作をしている法人の経営方針及び酪農情勢を考慮した酪農経営の方針に対する助言を受けたい。

3 支援内容

■支援チームによる経営拡大・再編の取組支援

経営診断をしたところ、専門家の支援が必要であることから、支援チームを編成し支援方法を定めた。

支援チーム構成員：

J A 職員、普及指導員、市職員、
日本政策金融公庫職員

■専門家派遣を通じた助言の実施

酪農経営の方向性を検討するため、税理士による専門家派遣や J A・普及指導員による伴走支援を実施した。

・経営シミュレーションの実施（JA職員）

設備投資計画や部門別の収支を分析し、水稻・酪農部門の現状や将来の方向性に関する助言を行った。

・畜産・水稻栽培技術に関する支援（普及指導員）

WCSに関する試験結果、経営試算について情報を提供した。



専門家派遣による支援状況



専門家と施設等の現地調査

■支援を受けて・・・

令和2年に法人化した水稻部門については、米価下落や資材高騰などの情勢の下、主食用米からWCSなどの需要や収益性の高い品目への切り替えを進めていきたい。

酪農部門については、引き続き、支援を受けて経営の方向性を検討したい。

■今後の経営展開

家業の酪農部門については、稲作をしている法人に経営統合の方向で検討を進めたい。

ただし、現下の全国的な酪農不振の影響で収益力が低下しており、早急な統合は見送り、今後の酪農動向や労働力確保状況にあわせ、統合や施設整備の時期を継続して検討していきたい。



WCS 稲の取組みを拡大中

喜びの声

経営課題に対し、具体性・論理性を持って指導してもらえたので納得しやすかったです。

情報収集を進めたうえで最終的に経営判断したいと思いますが、指導されたことを重要な判断材料として活用していきたいです。

自身では呼びにくい専門家の方に相談できる貴重な場となりました。

専属スタッフ所感

今後の経営の方向性について具体的な時期や方法について、助言ができました。

資材高等など経営を取り巻く情勢は厳しいとは思いますが、勝機を捉えて酪農部門を法人に経営統合して、経営の効率化を図られることが期待されます。

<支援機関> 福井県農業経営・就農支援センター

組織概要

■相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：福井県福井市松本3丁目16番10号
福井合同庁舎2階

一般社団法人福井県農業会議

電話番号：0776-21-8234

まずはお近くのサテライト窓口まで

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

8：30～12：00 13：00～17：00



福井合同庁舎外観

各地区の農林総合事務所・嶺南振興局をサテライト窓口として、法人化、新規就農、雇用の導入、経営承継等、農業経営のレベルアップに向け、さまざまな支援を行っています。